

尾熊治郎教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1944年7月 広島県に生まれる
1963年3月 広島県立福山誠之館高校卒業
1967年3月 中央大学法学部卒業
1971年4月 創価大学文学部助手
1972年3月 中央大学大学院文学研究科哲学専攻修士課程修了
1976年4月 創価大学通信教育部インストラクター
1981年4月 創価大学通信教育部講師
1988年4月 創価大学通信教育部准教授
2008年4月 創価大学通信教育部教授
2015年3月 創価大学退職

受 賞

- 1986年5月20日 東洋哲学文化賞（東洋哲学研究所）
1999年12月9日 創価大学荣誉賞（創価大学）
2014年3月20日 名誉教授（創価大学）

著作目録

著 書

- 『牧口常三郎全集』（宗教論集・書簡集、脚注・補注）第三文明社、1987年「価値創造」
『人権はだれのものか』共著、有信堂、1994年、「第9章 精神史立場から見た人権」
『女性学へのプレリュード』共著、北樹出版、1995年、「フェミニズムと脱神話化への動向」
『創立者池田大作先生のご思想と哲学』（第1巻）創価大学通信教育部学会編、2005年、第三文明社、「第4章 創価の「人間復興」運動」
『高齢学へのプレリュード』共著、北樹出版、2006年、「第9章 2 変容する老いと成熟の間」
『創立者池田大作先生のご思想と哲学』（第2巻）創価大学通信教育部学会編、2006年、第三文明社、「第3章 文明間・宗教間対話の新展開」
『哲学』共著、創価大学通信教育部、2012年、「第3部 現代世界の問題と哲学」
『自立学習入門』吉川成司編著、創価大学通信教育部、2013年、「序章「自立学習入門」とはどのような科目か」

論文

- ハイデガーの思惟の場面と東洋的思惟の場面（上）、『東洋学術研究』、第10巻第2号、1971年4月、東洋哲学研究所
- ハイデガーの思惟の場面と東洋的思惟の場面（中）、『東洋学術研究』、第10巻第4号、1972年2月、東洋哲学研究所
- ハイデガーの思惟の場面と東洋的思惟の場面（下）、『東洋学術研究』、第11巻第3号、1972年10月、東洋哲学研究所
- ハイデガーにおける「性起」の究明をめぐって、創価大学『文学部論集』、第5巻1号、1976年3月
- 後期ハイデガーの思惟の動性—立場としての「所在究明」をめぐって—、『創価大学10周年記念論文集』、1980年11月
- 法と主体性、『創価大学創立15周年記念論文集』、1985年11月
- 後期牧口価値論の世界—「法」と主体の自己更新—、『東洋学術研究』、第25巻・第2号、1986年11月
- ニーチェにおける「生と認識」の問題—「生の自己更新」を中心にして—、創価大学『比較文化研究』、第4巻、1987年3月
- 『ツァラトゥストラ』における「変容」とその地盤—生の自己更新とその地盤—、創価大学社会学会『ソシオロジカ』、12巻2号、1988年3月
- 『開』の所在をめぐって、『生と思索』、刈田喜一郎退職記念論文集、1990年5月
- 脱底的自覚とその位相—西谷哲学とその成立地盤、創価大学、『創立20周年記念論文集』、1990年11月
- 宗教的生の構造と宗教の歴史性、『東洋学術研究所紀要』、第9号、1993年12月
- 生の根源性をめぐる問題場面—自然的・文化的生と信仰の間、「創価大学創立25周年記念論文集」、1995年12月
- 『脱底的自覚』とその現代的意味、創価大学『通信教育部論集』、第2号、1999年8月
- ニーチェ的生と牧口価値論（1）、『東洋哲学研究所紀要』、第30号、2014年12月

その他

- 大学通信教育における「レベル」をめぐる問題について—生涯学習の観点からの再検討—、『開放制教育研究会、研究委員会報告』、9号、私立大学通信教育協会、1982年9月

随想

- 「学光」に思うこと、『学光』、第1巻3号、1976年6月
- フライブルグ雑感、『学光』、23巻8号、1998年11月
- 今、よみがえる滝山城、『学光』、34巻12号、2008年3月
- 「通信教育」にこそ、人間教育への大道が、『学光』、39巻3号、2015年3月

教材解説

教材解説 哲学、『学光』、第2巻11号、1977年2月

教材解説 哲学、『学光』、第3巻29号、1978年12月

哲学のレポートとしての要約について—哲学の本性との連関にて、『学光』、第5巻8号、1980年11月

思想の成立地盤と生の位相—「わかる」の諸相(層)について、『学光』、第7巻3号、1982年6月

哲学的思索への道—「たじろがぬ眼」・「全身で考える」、『学光』、第7巻7号、1982年10月

科学・哲学・宗教の間に交渉の気運—求められる根源的生との連関の場、『学光』、第11巻6号、1986年9月

「問いを立てる力」と価値転換、『学光』、第38巻7号、2013年10月

書評

小杉泰 『イスラームとは何か—その宗教・社会・文化』、1994年、講談社、『学光』、第27巻1巻5号、2002年8月

阿部勤也 『日本人の歴史意識—世間という角度から—』、2004年、岩波書店 『学光』第29巻12号、2004年3月

安田喜憲 『巨大災害の時代を生き抜く—ジェオゲノム・プロジェクト』、2005年、株式会社ウエッジ、『学光』第33巻1号、2007年4月

安田喜憲 『生命文明の世紀へ—『人生地理学』と「環境考古学」の出会い』、2008年、第三文明社、『学光』、第35巻2号、2008年5月

モハマド・ハタミ 『文明の対話』、2001年、共同通信社、『学光』、第34巻2号、2009年5月

西垣通 『ネットとリアルの間—生きるための情報学』、2009年、筑摩書房、『学光』、第35巻7号、2010年10月

高木仁三郎 『チェルノブイリ原発事故』、2011年、七ツ森書館、『学光』、第36巻3号、2010年3月

浅井幹雄編 『ガンディー 魂の言葉』、2011年、太田出版、『学光』、第36巻3号、2012年2月

山崎亮 『コミュニティデザイナー—人がつながるしくみをつくる』、2011年、学芸版社、『学光』、第37巻3号、2012年6月

金田章裕 『文化的景観—生活となりわいの物語』、2012年、日本経済新聞出版社、『学光』、第38巻1号、2013年4月

中田正光 『戦国の城は民衆の危機を救った—関東王国の平和を求めた八王子城城主氏照』、2013年、揺籃社、『学光』、第38巻1号、2013年4月

小杉泰 『9.11以後のイスラーム政治』、2014年、岩波書店、『学光』、第39巻12号、2014年3月